



1 部活動指導員に委嘱状交付

串間中学校の生徒の部活動をサポートするため、女子バレーボール部の部活動指導員に市職員の武田佳大さんが就任し、教育長室で委嘱状の交付式が行われました。同指導員の委嘱は、教職員の負担解消を図り働き方改革につなげようと本市が今年度から新たに組み立てている事業です。武田さんは「計画性と実行力を持って、先生や生徒、保護者と連携してチーム力向上に努めていきたい」と話していました。任期は来年の3月31日までです。



武田さんは幼少期からバレーを続けており、経験を生かした指導員の活躍が期待されます

4 串間温泉いこいの里 入浴者1万人達成



1万人目となった脇村さん家族（中央）

「美人の湯」として有名な串間温泉いこいの里が、4月4日の営業再開から入浴者数1万人を達成し、1万人目の入浴者に記念品を贈呈しました。同施設支配人の田熊昭さんから1万人目となった都井地区在住の脇村貴志さんら家族に、入浴回数券と黒瀬ぶりを贈呈。脇村さんは「ビックリしました。お湯の質が良く週に1回は家族で来ています。これからも利用していきたいです」と話していました。

13 生ライチ串間から初出荷 市長へ表敬訪問

市内の生ライチ生産者である島田俊満さんがライチの初出荷にあたり表敬訪問され、市長へ完熟の生ライチを贈呈しました。今回、贈呈された真っ赤な生ライチは糖度が低いもので15度、高いもので21度にもなります。実際に市長は試食され「すごく甘い、みずみずしい」と串間初の南国の味を堪能していました。島田さんは「来年は生産技術を上げ、2週間程度時期を早められるようにこれからの時期を頑張りたい」と話していました。



串間初の生ライチを贈呈した島田さん（左）

18 ビデオ会議システムを利用し 東九州道早期整備などを要望



市長から本市の要望内容を発言されました

東九州自動車道建設促進日南・串間・志布志地区協議会と国道220号防災対策整備促進期成同盟会は、ビデオ会議システム「Zoom(ズーム)」を使い、古川禎久・森山裕衆議院議員、国土交通省道路局長橋和久次長に対して、東九州自動車道の未事業区間の早期整備などの要望を行いました。本市からは、市長、市議会議長、市商工会議所の堀口勝郎会頭、串間のみちを考える女性の会の齊藤チヅ子会長が出席し、「同自動車道の早期整備・早期事業化と防災・減災・国土強靱化のための予算の確保」を要望しました。

27 道の駅くしま新築工事の安全を祈願

来年春に中心市街地にプレオープンを予定している、「道の駅くしま」の新築工事着工を迎えるにあたり、安全祈願祭が行われました。市長、副市長をはじめ、市議会議員や工事関係者など約40名が出席し、工事の安全を祈願しました。道の駅くしまは、今年度中に地元の食材などを提供する飲食物販施設と交通情報や観光情報などを提供する情報館が完成、来年度には市民交流館とイベント広場を整備する計画であり、今後のさらなる交流人口拡大の拠点として期待されます。



安全祈願祭の様子

1 千種保育所が七夕飾りを贈呈



福祉センターにて七夕飾りと園児と職員

千種保育所の年長児15人が市民病院と市総合保健福祉センターを訪れ、七夕飾りを贈呈しました。七夕飾りは今年、同園内で行われるちぐさっこ祭りの練習の合間を見て、約3メートルにおよぶ巨大な4本の笹を、約1カ月半以上かけて飾り付けたことで、短冊には「コロナウイルスにかからないでください」や「じょうゆうになりたいです」など書かれていました。施設を訪れた方にも願い事を書いてもらえるよう、手作りの短冊も贈呈されています。